

それまでは、北海道の土砂災害警戒情報システムや広報誌等で指定済箇所を随時お知らせし、未指定危険箇所を確認していただきたいと思っ

砂・岩石の堆積状況を確認するとともに、災害の未然防止に努めていくよう、要望して参りたいと考えている。

砂防ダムは、土砂が満砂

となつてからも、一定の効果を発揮するものであり、砂防ダム上流側の土砂が貯まった区間では、大洪水の時でも、川の勾配が穏やかで広くなつているため、水の流れが遅くなり、ダム下流への土砂流出を軽減するものである。

また、貯まった土砂は、平常時の降雨により少しずつ下流に流され、これは、流出土砂の調整機能」というはたらきである。

このことから、町としては、砂防ダム上流側に堆積している土砂・岩石の状況について、注視することが大切であると考えており、砂防ダム管理者には、今後

議会運営委員会

【3月2日】

3月8日に開会する第1回定例会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期について3月8日～10日までの3日間とすることに決定しました。

【3月9日】

3月10日午前まで開会予定の予算審査特別委員会が、早く終了したため、第1回定例会の繰り上げ開会を決定しました。

総務産業常任委員会

2月3日と3月22日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

2月3日

地域政策課

(1) 「有人国境離島地域保全特別措置法」いわゆる、「有人国境離島法」下での、「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」（仮称）制度概要について説明がありました。概略は次のとおりです。



- ◎住民が通常利用する航路旅客運賃について、JR運賃並みまで引き下げる。
- ◎住民向けの航空路運賃について、新幹線運賃並みまで引き下げる。
- ◎「もう一泊」してもらうための旅行商品、企画乗船

- 券・企画航空券又は滞在プランの開発・企画・宣伝費や実証費、これらの販売促進費を支援することにより、実質的に旅行者の負担を軽減する。
- ◎農水産品（生鮮品全般）の移出、これに必要な原材料等の移入に係る輸送コストを支援。
- ◎雇用を増やして創業・事業拡大を行う場合の設備投資資金や、人件費、テナン

- ト料、広告宣伝費の運転資金の一部を支援。
- ◎地域社会維持に係る利子補給制度の創設。
- (2) 地熱関係事業に係る報告があり、発電後の二次利用または新たな熱利用について及び。地熱発電所建設に向けてのスケジュールの報告がされました。
- (3) 商工・観光関連について、以下の事項について報告がありました。
- ◎観光客・津波館、各歓迎キャンペーンの入込数等の報告。
- ◎「食の大北海道展」での檜山観光に関するアンケート結果報告。
- ◎いわゆる「有人離島法」下での（滞在型観光促進）・（雇用拡充）・（地域社会維持に係る利子補給金）等の制度について、創業支援事業計画 概要（素案）について。

教育委員会

奥尻中学校閉校に伴う借地返還、クラウドの原状回復について報告がありました。

地権者との話し合い結果をふまえ、グラウンドの構築物等の撤去と、補償金の支払いにて解決できるとの報告があり、予算措置についての説明がありました。

環境センター

一般廃棄物発生量・処理料金について、焼却炉の測定結果等についての説明があり、加えて焼却炉の定期点検費用と、予算化についての説明及び施設中期整備計画(案)概算が示されました。

企画管理課

町営自動車整備工場老朽化に伴い、検査機器代替工事と、適用法令の改定に伴い、改修が必要とされる塗装ブース改修工事についての説明があり、工事費の積算額が示されましたが、平成29年度予算では計上できず、検査機器は老朽化しているものの、車検等は可能ではあるが、塗装作業が出来ない為、塗装部分に関しては、島外業者に頼ることになり、住民負担の軽減策としてフェリーの片道補助に関する要綱(案)が示されました。

なお、制度の利用に関しては、町営自動車整備工場にご相談くださいとの説明がありました。

3月22日

教育委員会

平成27年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告があり、56事業の評価は、Aが1、Bが47、Cが2、Dが1、Eが5、A評価は、事業拡充・B評価は、現状のまま継続・C評価は、改善の上継続・D評価は、事業の縮小・E評価

は、休廃止の検討でE評価の5事業は、廃止することになるとの報告がありました。

その後、4月から統合される新中学校後者を、教育委員会の説明をうけながら現地視察しました。

